



TCA ニュース

= 2004年3月発行 = 【No. 180】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しみ 行楽・旅を楽しみ 道楽・道を楽しみ 友楽・友を楽しみ 遊楽・遊びを楽しむ



玉里村サイクリング交流会

「玉里村へ輪行で行こう」・・・輪行研修会 玉里村「産直の家」との交流会

「輪行研修会」と「玉里村サイクリング交流会」に参加して

TCA会員：中田 修二

今日は神宮外苑サイクリングセンターに保管されているJCAのMTB26台を、輪行研修会を兼ねて茨城県玉里村へ運ぶ日。各自輪行袋と工具を携えて14名が朝8時神宮外苑に集合した。又、輪行メンバーに加えて残りの12台をトラックで運ぶメンバー等、TCAの参加者は北川顧問を加え合計19名でした。玉里村への移動は「つくばりんりんロード」、「恋瀬川サイクリングロード」、常陸小川駅から「村内ツーリング」の3コースに分かれて行われた。

私は、「村内ツーリング」コースに参加した。このコースは7名で構成され、「恋瀬川サイクリングロード」コースのメンバー4名と共に、神宮外苑から地下鉄千代田線「乃木坂駅」まで走り、ここでMTBをばらした。先ず前輪をはずそうとして気がついた。「あれ、クイックレバーが付いてない!」。しかもナットが固く締まっておりはずすのに苦労した。輪行を意識して使用されていた訳ではないので、保管されていたMTBの装備状態はまちまちであり、今回始めて輪行を経験するメンバーへの指導も含め、皆で協力しながら11台のMTBをなんとか輪行袋に詰め込んだ。切符を購入しホームに勢揃いする迄に、普段の輪行に較べて予想以上に長い時間がかかった。

ようやく車中の人になれたと思ったが、今回そうは問屋が卸さなかった。千代田線はJR常磐線に乗入れており、松戸駅で一回乗換えれば、鹿島鉄道に接続する石岡駅に着くはずだった。しかし、なんと4回も重たい輪行袋を抱えて乗換えることになろうとは!

北千住で一旦ホームに下りたが、いややはりコレでいいのだ、とすぐまた今下りた電車にあわてて舞戻り、松戸で乗換え、取手で乗換えて、高浜で「恋瀬川サイクリングロード」コースの4人を見送った後、やっと最終乗換えの石岡駅に着いた。「いくら輪行研修だとしても乗換えが多すぎやしませんか、幹事さん、え?」

単線の鹿島鉄道は1車両で、前乗り前降り方式だった。「常陸小川駅」は5つ目だった。運転手さんの他に車掌さんが乗っていた。車掌さんは、我々全員が途中までの切符しか持っていなかったので、他の乗客の分も含めて乗越し切符の精算に奮闘していた。乗越し切符は「車内補充券」という印刷があり、幅約6センチ長さ約15センチの細長い紙で、原券種類、日付、乗車駅、下車駅、金額の各欄に、いまだき珍しくパンチを入れる方式だった。もらった券には9箇所のパンチが入っていた。車掌さんは途中駅に停まるたびに昇降

口である一番前にすっ飛んで行き、電車が走り始めるとまた切符の精算に戻って来た。われわれ数人の清算が終わらないうちに、目的地である次の下車駅「常陸小川駅」がもうすぐそこに迫っていた。「一番前の昇降口からしか自転車は下ろせないのだから時間がかかるし、予定の発車時刻に間にあわなかったらどうするのかなあ、単線だからきっと駅で時間遅れの調整でもするのだろう」、と我々は他人事のようにのんきに推測を楽しんでいたが、車掌さんは汗だくになりながら必死の形相で処理しなんとか間にあった（脱帽）。

陸小川駅には玉里村小松課長他村の人たちと、車でMTBを輸送したTCAのメンバーが出迎えてくれた。この駅でJCAの竹之下部長、茨城サイクリング協会の斎藤理事長他メンバー、TCAの加藤副会長等と合流した。輪行袋からMTBを取り出し組上げて、お決まりの加藤副会長の指導によるウォーミングアップ体操の後、村人の先導で走り出した。15~20分くらい走ったところに民家園があり、そこでお蕎麦の昼食に招待していただけるとのことである。少々風が強かったが、天気予報は完全に外れて、うららかな快晴であった。民家園にある茅葺の玉里村民家は、玉里村の指定文化財（建造物）とのこと。懐かしい日本のふるさとも感じさせる雰囲気の中、広い庭にテーブルと椅子がセットされ、村長さんを始め蕎麦打ちの会の皆さんの手打ち蕎麦を堪能した。これだけでも今日玉里村に来た甲斐があると感謝した。このお蕎麦は必ず玉里村おこしの一つの目玉になるだろうと確信した。

昼食後、3コースの集合時間16:00までの間、玉里村の皆さんと茨城県サイクリング協会のメンバーも加わり20人くらいで村内ツーリングに向かった。有難い事に霞ヶ浦に沿ったサイクリングロードを中心にした史跡探訪コースの地図が準備されていた。玉里村の広報担当の方が車で機動力を発揮しながら、コースの要所で写真撮影を行っていた。霞ヶ浦に沿った道は春の強風に押し戻されながら走るという状況でしたが、古墳や古寺や灌漑用水井戸など史跡も多く、豊かな自然に恵まれた陽春の下「村内ツーリング」を十二分に味わうことができました。



「玉里村勢要覧2001」には、新世紀まちづくり「人と自然が交歓する 玉里 快適田園文化のまち」、と謳われています。今回の輪行研修会と玉里村サイクリング交流会を通じて、暖かい玉里村の心に触れることができたこと、そして人と自然の輪がまた一つ広がったことに感謝しています。

以上



その時歴史は創られる

「キーワードは現地集合」

【平成15年12月22日】

三年シリーズの最終年を迎えた「自転車の乗用に関する調査研究」、この年のテーマは「ロングライド」。具体的な調査対象は関東の自転車専用道路の実状だった。そこに「茨城県玉里村のGT（グリーンツーリズム）」が加えられていた。

委員のひとりにはそれをやや唐突と感じた。他の9人の委員に「何故」を問うものはいな

かった。委員長の筑波大蓮見教授が「玉里GTプロジェクト」に深く関わっていた。

「GTの一角にサイクリング環境を据えるとして、その対策、例えば自転車の貸し出しはどんなふうですか？」

委員のひとり玉里村の小松企画開発課長が答えた。

「村内を走る三セクの鹿島鉄道常陸小川駅に3台あります」

皆が沈黙した。

「現地集合」まであと二ヶ月のことだった。

そのころTCA指導部担当はある焦りを感じはじめていた。「もっと自転車を好きになる講習会」を本年度はまだ一回しか開催していなかった。年度末に突入しようというのにこれといった企画も思い浮かばない。

神宮外苑の倉庫。自転車が眠っていた。マイルドセブンのキャンペーンに使用された後、全国各地から返されて来たまだやる気も能力もあるマウンテンバイク型の26台だった。

「何時来るかは分からないが、新車の為のスペースが必要だ。空けてもらいたい」

突然の通告だった。行き場はない。このままでは路頭に迷い錆びてゆくほかはなかった。

【平成16年1月13日】

TCA常任委員会。何人かの委員が頭脳を絞っていた。

「そうだ。『もっと自転車を好きになる講習会・輪行の実技』だ」

「？」

「TCAの会員がある日、空の輪行袋をもって神宮外苑に集まり、マイルドセブンの自転車をバラして各自輪行で運び駅前で組み立てて走行し、その後、車は玉里村に残して帰って来る。これをセオリー通り正しく行う・・・という講習会です」

名案だ。あちこちでバラバラに発生した懸案を一挙に解決に導くことができる。

翌日からJCA、玉里村、茨城県サイクリング協会との折衝が忙しく始まった。

「現地集合」まであと一ヶ月のことだった。

【2月15日】

TCA9人の会員が神宮外苑に集まった。玉里村に運ぶ自転車を整備する為だった。

「現地集合」完結まであと7日

【2月22日】

午前9時。16台の自転車はふた手に分かれて神宮外苑をあとにした。残の10台を運ぶレンタルのトラックも同時にスタートした。

「現地集合」まで9時間30分

*

風の中のセブン 砂の中のみんな・・・ 人は皆・・・ 地べたばかり見てる・・・

*

午後6時30分、田園の夕闇をヘッドライトの光芒が切り裂いて、蓮見教授が到着した。

「『現地集合』の完結だ」TCA会員のひとは胸中で呟いた。

別の会員は「一石・・・」と指を折ったが鳥の数は分からぬままだった。

飽くまで欲深な指導部担当は舌打ちした。

「そうか。先週を『放置された自転車の整備法の講習』にすればもう一つ稼げるところだったんだ」

(この記事はドキュメンタリーです。ドキュメンタリーの常として多少のフィクションが含まれます)

TCA専務理事：日向宏之

事務局からのお知らせ

平成16年度会員登録（更新）のお知らせ

平成16年度会員証の更新を受け付けます。年会費は、5,000円です。

更新申込は、東京サイクリング協会事務局(〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11)へ振込の場合の口座番号は下記の通りです。(自分の名前を忘れずに書いて下さい)

郵便振替：口座番号 00100-9-190048 東京サイクリング協会

銀行振込：三井住友銀行銀座支店 口座普通 7401968 東京サイクリング協会

東京センチュリーライド

今月(4月)号のサイクルスポーツ誌に昨年10/12に実施した「東京ハーフセンチュリー」について会員の佐藤靖氏の紹介記事が掲載されています。

今年は、5月4日に実施する予定で準備を始めています。

また、別冊のイベントブックにもいくつかの行事が示されています。

タンデムを楽しむ集いスケジュール

今年の『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』

の開催スケジュールが決まりました。

4月4日(日)・9月5日(日) 神宮外苑

6月6日(日)・11月7日(日) パレスサイクリング

TCA 春のサイクリングの集い

バーベキュー&サイクリングin 若洲海浜公園

{ 開催要項 }

日 時：平成16年4月29日(祝)午後1時~3時 (雨天中止)
会 場：都立若洲海浜公園キャンプ場(江東区若洲一番先)
集 合：現地会場 午後0時30分
内 容：サイクリングは現地集合のフリーラン(オプションコース有)とします。
会場では、バーベキューパーティーをいたします。
食後は、公園内のサイクリングコースを、海を眺めながら走ったり、レクリエーションを楽しんで下さい。

参加費：大人 2,500円 子供(小学生) 1,500円 6歳未満は無料

申込方法：4月22日迄に下記事務局まで

〒104 0061 中央区銀座 7-15-11

東京サイクリング協会 『春のサイクリング係』(Fax: 03-3541-6540)

お問合せ：東京サイクリング協会 Tel: 03-3541-6540

当日の現地連絡先 Tel: 070-5025-6867(中村)

その他

- ・参加費当日払いの為、申込みは確実にお願いします。先払いも歓迎します。
- ・参加を取消す場合は、出来るだけ早めに事務局へ連絡して下さい。
- ・自動車をご利用の方は、公園駐車場 ¥500/回 です。
- ・フリーランのオプションコースの詳細については事務局へお問合せください。